

## ヴィーブヘルスケア、「プライドハウス東京 2019」を通じて LGBT+とHIV/エイズ、セクシュアルヘルスへの取り組みを支援

ヴィーブヘルスケア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ダスティン・ヘインズ、以下「ヴィーブヘルスケア」)は、「プライドハウス東京 2019」のダイヤモンド・スポンサーとしてLGBT+などのセクシュアル・マイノリティに関する取り組みのサポートを行っています。

「プライドハウス東京」は、セクターを超えた団体・個人・企業が連帯し、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されるタイミングで、LGBT+などのセクシュアル・マイノリティに関する情報発信を行う、期間限定のホスピタリティ施設を設置し、多様性に関する様々なイベントやコンテンツの提供を目指すプロジェクトです。

今回、ラグビーワールドカップ 2019 開催に合わせて設置された「プライドハウス東京 2019」は、同年9月20日(金)～11月4日(月)まで、subaCO(東京都渋谷区)でオープンしています。

●プライドハウス東京公式 HP: <http://pridehouse.jp/>





ヴィーブヘルスケアでは特に、プライドハウス東京が掲げる 7 つのテーマのうち、HIV/エイズを含む性感染症に関する情報を発信する「セクシュアルヘルス・救済窓口」チームとして、HIV/エイズの予防・啓発・支援や性暴力被害に取り組む NPO 等と協働します。

また、セクシュアルヘルス・救済窓口チームでは、国連合同エイズ計画(UNAIDS)とのコラボレーション企画などを通じて、HIV/エイズ等の情報発信をしていきます。

ヴィーブヘルスケア代表取締役社長 ダスティン・ヘインズはこの度の取り組みについて次のように述べています。

「弊社は抗 HIV 薬のスペシャルティ・カンパニーとして、LGBT+の中でも特に、HIV に最も影響を受けている MSM\*とトランスジェンダーの人々のセクシュアルヘルス(性的健康)と社会生活を向上させるためのコミュニティの取り組みを支援することにも力を入れています。HIV/エイズに関わる多くの人々の努力や治療の進歩により、治療でウイルスをコントロールし続けることでパートナーへの感染もなく 1)、HIV を持たない人と同様の寿命を生きることが可能 2)な時代です。この取り組みを通じて国内外の多くの人々が HIV 感染症に対する正しい知識をもち、HIV を持つ人も持たない人もよりよく共生できる社会を目指しています。是非多くの方々にプライドハウス東京へ足を運んでいただければと思います」

\*MSM=Men who have sex with men の略

### ヴィーブヘルスケアについて

ヴィーブヘルスケアは、英国グラクソ・スミスクラインと米国ファイザーによって 2009 年に設立された、抗 HIV 薬に特化したスペシャリスト・カンパニーです。2012 年 10 月に塩野義製薬株式会社が 10%の持ち分を取得しました。ヴィーブヘルスケアは、どの会社よりも、HIV/AIDS についてより深い、幅広い関心を持つことで、新たなアプローチで効果的な新規の HIV 治療薬を提供し、HIV の影響を受けているコミュニティを支援することを目指しています。詳細は、[www.viivhealthcare.com](http://www.viivhealthcare.com) をご覧ください。

<参考>

- 1) Alison J Rodger et al, Lancet 2019; 393: 2428-38
- 2) Hasina Samji et al, PLoS ONE 8(12):e81355. doi:10.1371/journal.pone.0081355

### <本件に関するお問い合わせ先>

ヴィーブヘルスケア株式会社 担当:北村  
TEL: 03 - 4231 - 5150  
<http://glaxosmithkline.co.jp/viiv/>